

「第17回 東京都食育フェア実施結果」

- 開催趣旨 都民が食について関心を持ち、安全安心な食を正しく選択する知識を身に付ける契機とする。また、都民と食育活動団体との交流や連携を促進し、東京の食育活動の充実と「東京都食育推進計画」の着実な推進を目指す。
- 開催日 令和7年11月8日（土） 10：00～16：00
令和7年11月9日（日） 10：00～16：00
- 場所 代々木公園ケヤキ並木通り（渋谷区神南二丁目）
- 主催 東京都
- 来場者数 29,200名
- 参加団体 延べ50団体（イベントスペースのみ2団体、テントブース48団体）
- 内容
①イベントスペース
②ケヤキ並木通りテントブース

フェア入口と来場者で賑わうケヤキ並木通り



東京都ブース



テントブース（東京都エコ農産物PR）



テントブース

(帝京平成大学 健康栄養学科 2 年生
(幼児・学童期グループ))



キッチンカー



イベントスペース (TOKYO X-Association)



テントブース

(食糧学院 東京栄養食糧専門学校・
ベターエイジング研究所)



キッチンカー



イベントスペース

(お米まプロジェクト実行委員会)



テントスペースでは、48団体による食育に関するパネル展示、ワークショップ、東京産農産物の販売等が行われ、幅広い年代の方が参加されていました。キッチンカーでは、玉ねぎ等の東京産食材を使用した食事を提供し、多くの方が喫食されていました。

東京都ブースでは、食育に関するパネルの他、学校給食へ東京産農産物を導入する支援を行っていることを紹介するパネルの設置や動画の放映を行い、来場者の理解を深めるように実施しました。ぬりえコーナーでは、多くの子供たちがぬりえを楽しみました。

イベントスペースでは、10コマの時間で、箸置きづくり、クイズ、大学生による発表などが行われました。食育ソングのミニライブや野菜のキャラクターが出演するクイズ大会等、子どもと一緒に楽しめるプログラムから、東京都が開発したブランド豚肉「TOKYO X」の紹介やお箸の正しい持ち方講座などの大人も学べるプログラムまで、多彩なイベントが実施され、多くの方に楽しんでいただきました。